

2007年
FIS ノルディックスキー
世界選手権札幌大会開催
2月22日~3月4日



新春特別
対談

大会グッズには
こんなユニークな
帽子も!



感じたからですね。それに長く競技を続けることができませんでしたし、結果を残すこともできませんでしたから。
市長 原田さんは失敗しても、みんなに親しまれる、何か友情にも似た感情を観客に

札幌オリンピックピックのような、世界に誇れる大会にしたい。

— 上田市長 —

引退後も続く「原田人気」
市長 昨年三月に現役を引退されましたが、決意したきっかけというのは。
原田 自分自身、世界のトップに立つのはもう難しいと



市長 競技生活は何年だったんですか。
原田 二

感じさせる選手でしたよね。本当に温かい、素晴らしいキヤラクターだと思います。
原田 ありがとうございます。今でも街角で「原田選手！」と声を掛けてくださる方がいます。

十八年ですね。
市長 いやあ、すごい！指導者として思うこと

市長 指導者となってみて感じることはありますか？
原田 やはり基礎の大切さ

SKI CHAMPIONSHIPS 0 2007

ジャンプの
スキー板を手に。
近くで見ると
かなりの迫力!



ですね。ジャンプというのは、基礎ができていなくてもある程度できる部分があり、そのまま大人になってしまうと修正が非常に難しい。世界レベルの大会では、特に基礎が大きくものをいいますね。

市長 わたしは弁護士なのですが、法律家の世界でも同じことがいえると思いますね。司法試験を突破するテクニックばかりに偏った勉強をして、基礎をおろそかにすると、いざ前例のない新しい問題にぶつかったとき対応することができない。

原田 やはり指導者が、子供たちに基礎を徹底するよう指導していくことが大事ですよ。

ヨーロッパ各国が熱狂する 世界選手権

市長 わたしは二〇〇五年にドイツのオーベルストドルフで行われた前回の世界選手権に行ったのですが、本当に

札幌のジャンプ少年団も頑張っています

札幌ジャンプスポーツ少年団 指導員

後 岩佐 諭志さん

藤野小学校4年

右 岩佐 明香さん

藤野小学校1年

左 岩佐 勇研くん

練習は、主に荒井山で週4回行っており、団員の子供たちも楽しんでますよ。札幌での世界選手権を見て興味を持ったなら、ぜひ荒井山に来てくださいね!

ジャンプはまるでジェットコースターのように、1度飛ぶと、やめられないよ! 将来は日本最初の女子ノルディックコンバインド選手になりたい!

初めて飛んだときは少し怖かったけど、今は大好き。もっと遠くへ飛べるように頑張る!

